



# 飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

## ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ  
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2950例会 2021. 3. 3

—— 水 と 衛 生 月 間 ——

天候 晴 (NO. 57-36)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日 (12:30~13:30)

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

### 《臨時休会》

#### 【会長報告】

皆さんこんにちは。いよいよ今月17日(水)から例会が再開となります。3か月に及ぶ長い休会となりましたが、会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと存じます。今年度も残り4か月を切りましたが、各委員会においては当初の計画を年度内に終わらせまようご配慮頂きたいと思っております。又、各委員会の開催をご都合のつく委員会ごとに行い、意見交換及び計画実施のための検討をしたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

「歲月不待人(さいげつひとをまたず)」

時間は刻一刻と過ぎていく。一瞬たりとも待ってくれない。かぎりある人生の時間を大切に生きなければいけない。

時間はどんどん過ぎ去っていき、過ぎ去った時間は戻らない。そのことはだれでも知っています。しかし、知っていながら、時間を最大限有意義に使うことができないのも、また、人間なのだとはいえる。

どんな仕事にも仕上げなければならぬ期限があります。さあ、期限まで一週間。考えることはどんなことでしょうか。

「まだ、一週間あるのか。始めるのは明日からでいいな」。時間は充分にあると自分に言い訳して、先送りにする。そして、明日になったら、「まだ大丈夫、明日からやることにしよう」ということになる。その結果、土壇場になって着手することになり、やっつけ仕事になったりもする。しかし、なにをするにしても、先送りしていいことはなにひとつないのです。

「期限は一週間でも、自分は三日で完成させられる。だったら、最後の三日間でやっつけてどこが悪い?」

仕事に支障をきたさないという意味では、どこにも悪いところはないでしょう。余裕があるのだから最初の四日間は手を付けず、その後の三日間で仕事に取り組めば期限は守られます。しかし、手をつけないでいる四日間は、「やらなければいけないこと」が常に頭にある四日間ではないですか? 一方、最初の三日間で仕上げてしまえば、残りの四日間は頭に

も心にも、なにも憂いがない日々なのです。

状況が許すのであれば、四日間休みをとって旅行にだって出かけられます。積み残した仕事があったら、そうはいきません。かりに旅行に出かけたとしても、「帰ったら、仕事をやらなければいけないのか」という思いがあるはずですから、心底旅行を楽しむというわけにはいかない。

「先憂後楽(せんゆうこうらく)」という言葉もあり、憂いごとは先に片づけてこそ、その後、心ゆくまで楽しめるのです。やるべきことは、ただちにやる。それが時間を有意義に使うための鉄則です。やる気を出すのはただいま、そのとき、しかないのです。

「やるときにはやるんだから!」。では、その“やるべき”とはいつなのですか? 結論をいえば、やるべきなどやってきません。この台詞を口にする人が、やる時を得て、みごとにやってみせた、という例をわたしは知りません。永遠に同じ台詞を繰り返して、なにもやらないまま終わるのです。

「即今、当処、自己(そっこんとうじよ、じこ)。禅の言葉ですが、その瞬間に、自分がいるその場所で、みずからがやる、ということの大切さをいったものです。そうであってはじめて、待ってくれない時間を、十全に生きることができる、とわかっていいでしょう。心に刻んでおきましょう。

#### 【幹事報告】

3/17(水)例会再開通知その他資料ご送付。3/26第3G会長幹事会ウェブ開催。他グループ例会変更。

#### 【委員会報告】

◎親睦活動委員会

坂本君

飯能・日高合同親睦ゴルフコンペのご案内をご送付。奮ってご参加下さい。飯能・日高合同例会を4/21開催。夜間でなく昼例会で行います。

#### 【ロータリー情報】

##### ■ 親睦 (Fellowship)

親睦とは

親睦を目的として出発したロータリー(RC)も、

長く真摯な論議を重ねながら大きな変貌をとげました。その結果、現在のRCの定款や細則の中から親睦の文字を見つけだすことは難しく、僅かに親睦活動委員会の項目にその痕跡を止めているに過ぎません。

RCの二本の柱として、ロータリアンのほとんどは親睦と奉仕をあげますし、新しいRC年度が始まって、新会長の挨拶にも決まって親睦と奉仕という言葉が述べられます。親睦と奉仕がロータリーライフを支える二本の大きい柱であることは疑いのない事実です。親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることは疑いのない事実です。

RCは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元に置いています。RCが定義する親睦と奉仕は、いかなる辞書を引いても正しい解釈が活字化されていないロータリー独自の概念であり、さらに、それを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理を語ることはできないのです。

“Fellowship”を「親睦」と訳したことにも問題があるのかも知れません。むしろ、「連帯感」とか「協調」と訳す方が理解し易いでしょう。「親睦」とはRCがクラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。言い換えれば“Fellowship”はRCの引力とも言えます。

### “入りて学び、出でて奉仕せよ”

ロータリー運動の実体を見事に表した言葉として「入りて学び、出でて奉仕せよ」“Enter to learn, Go forth to serve”という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

悩みごとを相談する真の友人こそRCの友でなければならず、それを可能にするためには、RCの友情即ち親睦を更に高めなければなりません。もし、事業不振のため退会を余儀なくされる会員がいたとすればそのクラブにはRCの親睦がなかったことを証明することになるのです。職業上の相談はどんなことでもクラブ内の友人に相談できる。どんなことを相談しても自分のマイナスになって返ってくることは絶対にない。これが可能なクラブのことを親睦のあるクラブと言います。その前提となるのが一人一業種制度なのです。

### 親睦活動 (Fellowship Activities)

RCの会員の中にも親睦と親睦活動を混同する人が多いようです。親睦会やゴルフ会に参加することは親睦活動に参加することであって親睦とは違った次元のものです。

親睦活動がクラブ奉仕の充分条件の範囲内で、親睦というRC本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動委員の任務を親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは大きな誤りです。確かに会員が心を打ち解けあう手段の一つとして親睦会やクラブ活動などのレクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は毎週一回の定例の例会であることを忘れてはなりません。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行すること、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが最大の任務なのです。

RIBIの推奨クラブ細則には“Fellowship Committee”「親睦委員会」とは別に“Entertainment Committee”「余興委員会」が設けられており、親睦と親睦活動の違いが定義づけられています。

ほとんどのクラブでは、新入会員は親睦活動委員会に配属されます。これは、新人だから下働きに使うということではなく、親睦活動委員として毎例会、

会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く、古い会員と融和を図ることを期待しているからなのです。友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し自己改善に努めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっていきます。(出典：ロータリーの源流 RI2680地区 田中毅PDG)

## ■ 会員増強 (Membership)

### 会員増強の3つの要素

会員増強の3つの要素は新会員の勧誘、現会員の維持、および新クラブの結成です。

### 会員増強の活動

クラブの戦略計画の一部を成す会員増強計画には入会と既存会員の参加を促進するためのクラブ目標と戦略を含めます。クラブリーダーと協力して、以下のステップを含む計画を立てましょう。

- 1) 以下のツールを活用してクラブの強みと弱みを知る。
  - クラブの健康チェック**
  - 会員の満足度を高める：会員満足度調査**
  - My ROTARY**にある会員関連レポート
  - ロータリークラブ・セントラル**から見ることで見る会員傾向
- 2) 3～5年後にクラブがどうなりたいかを思い描きます。このプロセスに全会員に関わってもらうことで、クラブ全体の責任感と目標達成への意欲を高めることができます。
- 3) 3～5年後に実現したいクラブの特徴を五つ挙げます。
- 4) クラブと地元の他団体とを区別するビジョンを一文で表します(ビジョン声明)。既にクラブのビジョン声明がある場合には、より良いものに練り上げます。
- 5) ロータリークラブ・セントラルで、上位三つの会員増強目標を見直します。
- 6) これらの目標がクラブのビジョンを支えるものかどうか、新しい目標が必要かどうかを検討します。ビジョンの実現に向けた会員増強の長期目標と年次目標を立てます。
- 7) 目標達成に向けた行動計画を作成します。「**会員増強ガイド：地域に合った計画を立てよう**」を参考にしながら、入会促進と会員維持のための手順をまとめます。

### 会員基盤の多様化

クラブの会員基盤は地域社会を反映したものである必要があります。さまざまな職業、年齢、性別が反映されることで、閉鎖的なイメージがなくなり、入会への魅力が高まり、会員維持にもつながります。多様な会員種類を設けることで、幅広い経験や知識を持つ人がクラブに集まり、効果的な奉仕活動につながります。**会員基盤を多様化し、地元の職業をクラブに反映させる**ことで、クラブだけでなく、地域社会にどのような恩恵をもたらされるかを考えてみてください。これらの評価ツールを使い、クラブ会員を対象にアンケート調査を実施し、会員構成を地元の人口統計と比較してみましょう。

RCの方針では、性別・人種・肌の色・信条・国籍・性的指向に基づいて、RCの会員資格を制限することが禁じられています。国際ロータリー細則の4.070節をご覧ください。

### クラブイメージの一新

クラブ公共イメージ委員会と協力して、以下の点を考慮に入れ、クラブの好ましいイメージを築く方法を検討しましょう。

クラブが発信する情報やイメージを通じて、人びとはクラブに対して一定の期待やイメージを抱くでしょう。この期待に応えるような例会を企画するように心掛けてください。活気あるクラブのイメージも、現実を反映していなければ入会にはつながりません。

会員はクラブを代表する存在であり、会員の行いがクラブのイメージに影響することを、会員に再認識してもらいます。RC以外での会員の活動は、入会候補者の関心を引き、クラブについて伝える好機となります。

クラブのソーシャルメディアページ、ウェブサイト、ブログを頻繁に更新し、より魅力的なものにしましょう。クラブの連絡先がすぐに見つけられるようにすることも重要です。**クラブウェブサイトのクイックスタートガイド**でウェブサイト組み立てのアイデアを学び、RCの**ブランドリソースセンター**で画像やバナーをダウンロードしましょう。